

愛媛大学大学院農学研究科 研究シーズ集（研究者情報）

氏名	松岡 淳	専 攻	食料生産学
		コ ー ス	食料生産経営学
職名	教授	専門分野	地域資源管理
メールアドレス	am604@agr.ehime-u.ac.jp	その他連絡先	089-946-9833
研究課題	農地の集積・集約化に向けた地域ぐるみでの農地管理体制の構築に関する研究		
キーワード	農地の集積・集約化、農地管理、地域農業組織		
研究内容：			
<p>愛媛県の農業においては、耕作放棄の防止と優良農地の保全が喫緊の課題となっており、自治体、農業委員会、農協等、地域農業組織の連携により、農地情報の蓄積・共有化や農地利用調整を進めることが求められている。最近では「担い手経営」への農地の集積・集約化が重要視されており、2014年より農地中間管理事業がスタートした。農地の集積・集約化を円滑に進めるためには、地域農業組織間の協力体制を構築することが不可欠といえる。</p> <p>以上の点を踏まえ、市町レベルを念頭において、農地の集積・集約化に向けた地域ぐるみでの農地管理体制のあり方に関して、調査研究を行う。具体的には、①農地の集積・集約化に向けて、自治体、農業委員会、農協等がそれぞれどのような機能を発揮し、どのような連携関係を構築することが望ましいか、②農業委員会や農協に蓄積されている農地情報をどのように活用すべきか、を明らかにしていきたい。</p>			
当該研究に関連する業績：			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 松岡 淳、愛媛県の柑きつ作における基盤整備の実態と課題、村田 武編、愛媛発・農林漁業と地域の再生、筑波書房、161～175頁、2014年 2. 松岡 淳・山藤 篤・坂本文造、労働力構造脆弱化の進行下における樹園地流動化の特徴、農林業問題研究、第49巻・第1号、13～24頁、2013年 3. 松岡 淳、条件不利地域の基盤整備、戦後日本の食料・農業・農村編集委員会編、戦後日本の食料・農業・農村 第12巻 農業農村基盤整備史、農林統計協会、167～183頁、2012年 			
当該研究に関連する産官学連携に関する学外の役職：			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 愛媛県国土利用計画審議会委員（2014年～現在） 2. 農地中間管理事業評価委員（2015年～現在） 3. 農業委員会活動評価検討委員（2004年～現在） 			
提供可能な資源・技術・その他			
農地利用・農業経営に関する調査分析技術、農地基盤整備の経済効果計測技術			
プロジェクト研究希望テーマ			
農地利用、農業経営、農業関連公共事業に関係するテーマ			